





色々な話題が盛りだくさん

## 茜会TOPIC

# EPA看護師候補者紹介

こんにちは。  
私の名前は、エリニッティ シホタンです。エリニと呼んでください。インドネシアのメダンから來ました。

趣味は小説を読むことです。

インドネシアでは看護師をしていました。病院で6年間働き、2020年12月16日に来日しました。海外での仕事を経験したいと思い日本に来ました。来日してからは、6ヵ月ほど大阪で日本語を勉強しました。今は昭和病院のE病棟で働いています。以上が私の紹介です。ありがとうございます。



エリニッティ  
シホタンさん

エサ クルニアと申します。インドネシアの西スマトラから参りました。日本で看護師になることは、私にとっての夢です。以前、私は日本に行くために長いプロセスをたどりました。コロナのため、EPAの出発は8ヵ月ほど遅れました。日本で働くことができて安心しました。2020年12月に来日しました。当時は、日本で初めての冬でした。飛行機を降りたとき、日本の方々の挨拶に感動しました。挨拶はとてもエレガントで権威のあることだと思います。病院で働いている間、私は患者さんと同僚と上司の両方に挨拶し続けます。日本で働く幸運な一人です。私の就労を受け入れてくれた昭和病院に感謝します。昭和病院の皆様、これからはよろしくお願い致します。



エサ  
クルニアさん

## 長期社会研修

3月下旬に突然長期研修の話がきました。自分に何ができるのだろうかと不安な気持ちのまま4月に入り茜会での研修が始まりました。例年よりも短い4ヶ月という期間ではありますが、とにかく皆さんの邪魔にならないように心がけ、できることを一生懸命に取り組むようにしてきました。

医療現場や福祉現場は初めての経験で、全てが新鮮で驚きの連続で、ただただおろおろしているだけでした。その中、皆さんから優しく声をかけてもらいました。何とかこの4ヶ月を過ごすことができました。



本当に感謝しています。

この研修で皆さんのプロとしての意識の高さと常に向上しようとする意識の高さ、そして患者さんやその家族、利用者等への思いを知ることができました。一人の患者さんに対して、多くの職種の人が関わっていき、一人一人の思いはただ患者さんの幸せを考えて最善となることを行っている姿を見て、これが協働なのだと強く思いました。

短い期間でした自分にとっては非常に濃密な期間でした。病院や福祉現場と学校は異なりますが、一つの目標に向かう皆さんの協働で自分の役割を發揮する姿は今後の学校においても必要なものであります。まだ、自分が学校で何ができるか分かりませんが、この経験を必ず活かして生徒に還元していこうと思います。本当にお世話になりありがとうございました。

綾野 充繁さん

## ワクチン実施報告

先日、昭和病院において職員の新型コロナウイルスのワクチン接種を行いました。新型コロナウイルスという前例のないウイルスに対してのワクチン接種ということで、さまざまな問題などを心配する中での接種でしたが、希望者全員が無事に接種を終えることができました。皆様のご協力のおかげでスムーズに接種を行うことができ、1回目2回目とも順調に接種が進められました。



COLUMN  
第4回

## 臨床心理士コラム



河村修司

季節は春夏秋冬と巡りますが、生きていると思ひもよらない事が突然発生したりします。現在のコロナ禍とそれによる生活の影響は誰もが予想出来なかつたと思いますが、コロナ以外にも突然人生の中でピンチな場面に遭遇する事があると思います。そのような時のストレスを乗り越えるために必要なのがレジリエンスという考え方です。レジリエンスとは、「逆境、脅威、極度のストレス等の困難な出来事の後に回復するプロセス」と言われている能力です。人によって人生の危機だと感じる状況は異なりますが、その

時は一人で乗り越えるよりも、周りの助けを求めることが必要です。一方で、現代社会はある面では過度な自立を求められており、助けてほしいと思っていても「こんな内容で人に相談したり、助けを求めるようすると人から笑われるんじゃないか」といった思いが助けを求める行動を止めることができます。しかし、自分の力では解決が難しいことについては周囲の力を使っていくことは必要なスキルです。大事なのは周りの助けを借りながら逆境を乗り越えていくことでレジリエンスを高めていくことです。

次回はアンガーマネジメントについてご紹介したいと思います。

## 児童発達支援事業所 つくべた 保育所等訪問支援事業がスタートしました!

児童発達支援事業所つくべたは、令和3年4月に『保育所等訪問支援事業』を新たに開所しました。これにより、今後は『多機能型事業所』として運営していくことになります。保育所等訪問支援事業とは、子ども達が在籍する地域の幼稚園・保育園・学校等へ専門支援員が訪問し、先生方と相談しながら一緒に子ども達の生活を支援していくサービスです。地域の中でその子らしく活き活きと進んでいけるように、支援を地域に繋ぐ役割を持っています。

私達訪問支援員は、園の先生方の想いを大切にしながら、そこにはほんの少し専門的なエッセンスを加える事で、先生方と一緒に成長を感じられる様になる事が重要と考えています。私達の持っている専門知識や技術が、支援の押し付けになってはいけないと強く思っています。

訪問支援で、子ども達の園での様子や、先生の取り組みに私達が学ぶ事も多く、また、子ども達は本当に色々な人に愛され支えられて、日々成長しているのだと改めて感じています。地域との繋がりを大切にし、必要とされる事業所を目指して、これからも子ども達の為に、力を尽くしていきたいと思います。



訪問支援員 上田 直子

## 「第10回日本ロボットリハビリテーション・ケア研究大会in下関」に向けて

### その3 市民公開講演について

第10回日本ロボットリハビリテーション・ケア研究大会in下関では、研究大会の初日に「市民公開講演」（参加費無料）を開催します。「市民公開講演」の講師は、広島大学大学院教授 弓削 類 氏です。弓削氏には、「再生医療とロボットリハビリテーション」というテーマでお話ししていただきます。今回の講演では、弓削氏が行っている幹細胞移植後のリハビリテーションの実際の様子を見ることが出来ると思います。

弓削 類：広島大学大学院教授として教鞭をとる傍ら「広島大学宇宙再生医療研究センターセンター長」、「NASAケネディー宇宙センター諸問題委員会委員」、「株式会社スペース・バイオ・ラボラトリーズ取締役」など幅広く活躍されています。

NPO法人 日本ロボットリハビリテーション・ケア研究会 理事長 昭和病院リハビリテーション部 顧問 田中 恩

お問い合わせ NPO法人 日本ロボットリハビリテーション・ケア研究会

事務局（昭和病院リハビリテーション部） 担当：田中 恩 電話：083-231-3888 メールアドレスQRコード  
@昭和病院は新しいリハビリテーションの開発・発展に取り組んでいます。 メール：npo.jrrcm@gmail.com



### 健康レシピ 夏の暑さを乗り切るココリコ とうもろこし



夏野菜として旬真っ盛りなとうもろこしには、炭水化物の多い穀物というだけでなく、他の野菜と同じように様々な栄養成分が含まれており、暑い夏を乗り切る為のエネルギー補給の役割があります。疲労回復に繋がるビタミンB群、生活習慣病の予防に役立つ食物繊維、血圧の上昇を抑えるカリウムなどを摂れる夏のオススメ食材です。



### 《とうもろこしの冷製スープ》

#### 材 料 (4人分)

● とうもろこし	中2本
● 白ネギ	1/2本
● 玉葱	1/2個
● サラダ油	小さじ1
● 塩	少々
● 水	400cc
● 固形コンソメ	1個
● 牛乳	200~250cc
● クルトン（お好みで）	適宜
● カレー粉（お好みで）	少々

#### 作り方

- 1 とうもろこしの実を芯から削ぎ落し、白ネギは小口切り、玉葱は薄切りにする。
- 2 フライパンにサラダ油を熱し、1を加え塩をふり、焼き色をつけないように弱火でゆっくり炒める。全体がしんなりしてたら水と固形コンソメを加え、蓋をして弱火で20分ほど煮込む。
- 3 粗熱をとってからミキサーにかけ、ザルで濾す。牛乳を加えて味を整え、冷蔵庫で冷やす。お好みでクルトンやカレー粉を合わせても美味しいだけます。